

複合交流拠点施設整備の見直しについて

1 経緯及び見直しの理由

複合交流拠点施設整備事業については、令和3年度に基本設計を行い、今年度、事業用地として稲吉南二丁目の約28,000㎡を購入し整備計画を進めてきたところである。今般、市民からのさまざまなご意見をもとに、事業を見直し、当該用地については、賑わいのある「都市公園」として整備を行うこととする。

また、以前から進めてきた複合交流拠点施設整備事業については、整備に向けて再検討を行う。

2 イメージする公園

例) 親子で楽しめる公園、くつろぎと語らいの公園など(子育て世代が遊びに来る、イベントを楽しめる、いこいの場、賑わいの場など)

※具体的な整備内容は、今後、市民の意見聴取などを踏まえて検討する。

3 本整備の基本的な考え方

本件整備は、令和2年12月に策定した立地適正化計画に基づき、居住環境の向上を目的に進める必要がある。

立地適正化計画に記載のとおり、JR神立駅を中心とした福祉・教育・子育ての拠点形成と周辺地域との連携・波及効果により、安心して住み続けることができる都市を目指す。

4 想定事業費の比較

	R4.3.31 時点事業費	見直し後概算事業費	比較
用地購入費	約10億円	約10億円	±0
建築工事費	約13.4億円	0円	-13.4億円
公園工事費	約4.3億円	約8.6億円～10.6億円	+4.3億円～+6.3億円
設計費等	約1.9億円	約2.2億円	+0.3億円
全体事業費	約29.6億円	約20.8億円～22.8億円	-6.8億円～-8.8億円

5 財源内訳

補助金 約10.4億円～約11.4億円(都市構造再編集中支援事業補助金 補助率50%)

起債 約9.4億円～約10.2億円(公共事業等債 90%)

一般財源 約1億円～1.2億円

6 今後の予定

令和4年10月13日 総務委員会

11月15日 全員協議会

令和4年度 基本設計見直し業務発注

令和5年度以降 アンケート、住民説明会などの実施、公園実施設計の発注、公園工事発注

令和8年度 公園供用開始